

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度 第2回学校運営協議会
開 催 日 時	令和7年9月8日(月) 午前9時40分開会・午前11時40分 閉会
開 催 場 所	入間市立扇小学校 中庭会議室
議 長 氏 名	斉藤 光明 会長
出席委員(者)氏名	斉藤 光明 委員 金澤 輝男 委員 石川 和子 委員 横川純一郎 委員 原 真澄 委員 陣野 美保 委員 福田 徳宜 委員 遠藤 敏 委員 村越 新 委員
欠席委員(者)氏名	田辺 暁己 委員
説明者の職氏名	事務局・向原中 教頭 忍足 耕史
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	〈令和7年度 第2回学校運営協議会〉 1 開会 2 あいさつ 3 協議(熟議) 「ボランティア活動の展開における課題と今後の展望」 ～学校でできること・地域でできること・家庭でできること～ 4 授業参観 5 その他 ・第3回学校運営協議会について 6 閉会 公開・非公開の別 全て公開
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料1 学校運営協議会次第 資料2 協議(熟議)資料
事務局職員職氏名	忍足 耕史 教頭 上村 晋哉 教頭
会議録作成方法	要点データ入力

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項	
議 事 の 概 要 (経 過)	〈令和7年度 第2回学校運営協議会〉 3 協議 「ボランティア活動の展開における課題と今後の展望」 ～学校でできること・地域でできること・家庭でできること～ (1) 説明・提案 ・ 2グループに分かれて協議 ・ 付箋にそれぞれの考えを記入する。 ・ 台紙に付箋を貼りながら意見交換をする。 ※時間があれば理想に近づくための、アイデア・手立ての検討 ・ 各グループの話し合いの内容を聞き合う。 (2) 意見交換・発表
決 定 事 項	6 その他 第3回学校運営協議会の開催場所は、後日連絡することになった。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
事務局 忍足	5 協議 (1) 説明・提案 「ボランティア活動の展開における課題と今後の展望」 ～学校でできること・地域でできること・家庭でできること～ (2) 説明・提案 ・ 2グループに分かれて協議 ・ 付箋に理想と現状についてそれぞれの考えを記入後、意見交換 ・ グループごとに配布された台紙に付箋を貼りながら意見交換 ・ 理想に近づくための、アイデア・手だての検討 (3) 意見交換・発表 ・ 小・中学校グループででた意見を事務局（小中の教頭）の方で簡潔に説明・発表した。
小学校グループ 斉藤 会長 陣野 委員 金澤 委員 村越 委員	・ 地域には、社会経験が豊富な大人がいる。課題授業「ようこそ先輩」のように、地域人材を活用した実践に取り組んでいけるとよい。 また、見守り活動に関しては、高齢化していることもあり、人材の確保が難しい状況にもある。 ・ 感性をはぐくむために、子供といっしょにできるファミリーボランティアを進めることはできないか。福祉施設とも連携してできるとよい。読み聞かせボランティアも、オンラインで実施することも検討してみてはどうか？ ・ 子供の主体性をはぐくむために、学校でやっている「子供が運営する経験」を地域の中でも進んでやってほしい。
中学校グループ 石川 委員 原 委員 横川 委員 福田 委員 遠藤 委員	・ 生徒が主体的に参加し自己有用感が高まる活動ができることが大切である。そのために、年間のボランティアスケジュール提示することで見通しをもって参加できる環境づくりやボランティアの実施に際してはその活動のフィードバックを生徒自身に積極的に行うことが必要である。 ・ ボランティアを展開していく中で安全面を保障していくことが必要である。中学校はボランティア保険等整っているかを必ず事前に確認してから生徒を案内していく必要がある。
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和 7 年 9 月 12 日	
議 長 の 署 名 齊 藤 光 明	